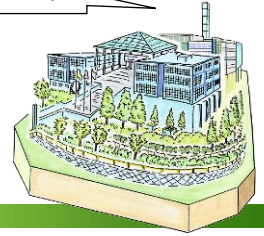


大屋根ガラス撤去工事を行い、8月より開館しています。

2018(H30)年 9月 No289 (隔月発行)

# しみんけんきゅうニュース



発行:(公財)千里リサイクルプラザ 研究所 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園4-3  
TEL 06-6877-5300 FAX 06-6876-0530 <http://www.senri-recycleplaza.or.jp/>

## 【目次】

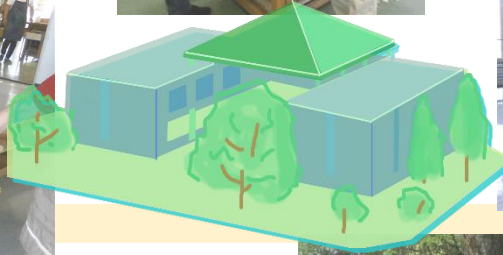
- P2-3 エコ体験 PT からの発信
- P4-5 千里エコフェスタ
- P6 夏休み親子見学ツアー
- P7 第4回 環境スクール(木工)
- P8-9 第5回 環境スクール(自然散策)
- P10 9・10月の予定

くるくるプラザ  
環境スクール  
開講中!

6/16  
環境スクール  
木工体験



木工椅子作り



里山の歴史に  
触れました

7/14  
環境スクール  
自然散策



炭焼き小屋にて



炭焼き材料のクヌギの森を歩く



帰路につきました



環境スクールでは12名の受講生の皆さんが毎回熱心に受講しています。

=お知らせ=  
地震対策のため  
大屋根のガラスを  
撤去しました。



わたしから

## 紙パックのリサイクル意識を調査しました

エコ体験PT 金子 幸平

私達、エコ体験プロジェクトチームは、牛乳パックから取り出したパルプで はがき作り(以下、紙すき)をしながら 紙パックのリサイクルを啓発しています。

吹田市は、家庭ごみ系は 12 種類に分別して処理しています。燃焼ごみは資源循環エネルギーセンターで燃やされています。その他の 11 種のごみは破碎選別工場に搬入されて、さらにこまかく分別して、ごみの中から資源を取り出してリサイクルしています。なかでも、牛乳パック(紙パック)は、以前はスーパーなどの回収ボックスに持って行く拠点回収方式であったものが、リサイクル率を向上させるために、平成 28 年(2016 年)8 月から「資源ごみ」扱いに変更して、市が回収することを"市報すいた 8 月号"で市民に通達されました。現在、吹田市では紙パックは「資源ごみ」として吹田市が収集して、トイレットペーパーなどにリサイクルしています。



破碎選別工場に収集された牛乳パック

私達は、くるくるプラザで 紙すき をしながら、市民の方々に「牛乳パックは "燃えるごみ" ではありません。"資源ごみ"です」と啓発しているのですが、市民の多くの方々が牛乳パックを"燃えるごみに出している"と耳にするので、牛乳パックが各家庭でどのようにごみ処理されているかをアンケートで調査することにしました。アンケートは、平成 29 年 11 月～平成 30 年 3 月までの くるくるプラザに紙す

きを体験しに来訪された吹田市民の方々に依頼しました。

アンケートの設問は次の通りです。

設問 1.ご家庭では どのような形で 牛乳を購入していますか?

- A. 紙パック入りの牛乳を買っている。
- B. ガラス瓶入りの牛乳を買っている。
- C. 牛乳は買わない。

A を選択された方は設問 2 を答えてください。

設問 2.ご家庭では 空になった牛乳パックをどのようにしていますか?

- D.燃えるごみに出している。
- E.スーパーの回収ボックスに持って行っている。
- F.資源ごみの日に ごみステーションに出している。

B を選択された方は設問 3 を答えてください。

設問 3.ご家庭では、空になった牛乳瓶を どのようにしているか?

- G.資源ごみに出している。
- H.販売店が引き取る
- I.その他

設問 4.あなたは 吹田市では 牛乳パックを資源ごみとして 市が回収していることを 知っていますか?

- J.知っている。
- K.知らない。

吹田市民 40 人 のアンケート結果は次の表の通りになりました。

設問 1			設問 2			設問 3			設問 4	
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
37	1	2	17	15	5	0	1	0	15	25

アンケートの結果を考察してみました。

1. 40 人の中、37 人が紙パックの牛乳を買っていますが、その 37 人は牛乳パックをどのようにしているでしょうか？

<b>F</b> 13.5 %	<b>E</b> 40.5 %	<b>D</b> 46.9 %
--------------------	--------------------	--------------------

- F**: ごみ置き場に出している。
- E**: 回収拠点に持って行っている。
- D**: 燃えるごみに出している。

2. 牛乳パックが「資源ごみ」だと知っていますか？

知っている 37.5 %	知らなかった 62.5 %
-----------------	------------------

3. 40 人の中 37 人(92.5%)が牛乳を紙パックで購入して、この中で、牛乳パックをリサイクルしなければならないと思っている人は 37 人中 E と F の合計 20 人(54%)と判明しました。

4. 牛乳を紙パックで購入している 37 人中、5 人(13.5%)が吹田市の通達どおりに 資源ごみの日にごみステーションに出している。

一方、15 人(40.5%)が従来方式のスーパーの回収ボックスに持って行っている。37 人の中 17 人(46.9%) が燃えるごみに出している。

5. 牛乳パックが「資源ごみ」だと認識している人は 40 人中 15 人(37.5%)で、「資源ごみ」だと知らない人が 25 人(62.5%)でありました。

6. 吹田市が 12 種分別の改定を市報で通達してから約 1 年半になりますが、牛乳パックが「資源ごみ」になったことを知らない人がまだまだ多いのが現状のようです。

7. 市民の方が牛乳パックのリサイクル意識を高めるために、私達はくるくるプラザで「紙すき」を通して紙パックのリサイクル意識を啓発し続けることが大切だと感じました。

このアンケート結果を持って、吹田市の環境部で下記の事を確認しました。

① 牛乳パックを「拠点回収」方式から、「資源ごみ」扱いに改定した理由として、環境部の方は、次のように話されました。

老人の方や手足が不自由な方が、スーパーなどの回収拠点の回収箱に持って行くのが不便であることを配慮して、身近なごみ置き場に出してもらうことで、牛乳パックの回収率が上がると考えた。

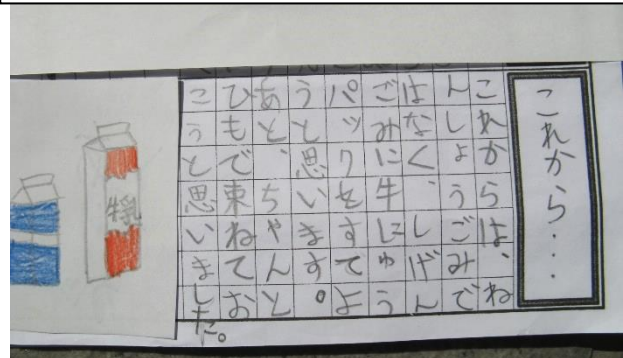
② アンケート結果の数値について コメントすることは控えるが、何事も役所は市民に周知徹底を図る努力をしている。市民に広く徹底するのに数年を要すると考えている。

周知の手段として、町内の自治会にごみ分別をお願いしたり、小学校で出前学習をしている。

例えば、小学校にパッカー車を持ち込んで、4 年生の子ども達に ごみの 12 種分別の話をしている。

③ 市民からごみの分別に関する問い合わせに対して、懇切丁寧に指導している。

小学4年生女子生徒の紙すき体験後のコメント  
これからは、燃焼ごみではなく、資源ごみとして牛乳パックを捨てようと思いました。



# 千里エコフェスタ 2018 を見学して

手作りおもちゃと環境PT 網島 勇

6月3日(日) 10:00~15:00 「くるくるプラザ四階広場」にて千里エコフェスタ 2018 が開催されました。

今回の千里エコフェスタは、従来のフリーマーケット、リサイクル体験に加えて多くのイベント・コーナーが設けられており、来場者もおよそ 1500 人で、従来に比べて格段の賑わいを見定めることができました。

## 当日のイベント&コーナー

### ・吹田お話の会 (ボランティア サークル)

- 1) 素話 (子ガモの話)
- 2) 大型絵本
- 3) 腹話術
- 4) 影絵 (おもちゃのチャチャチャ)

いずれのおはなしも幼児が対象で、子どもたちは奇声をあげて喜んでいました。

### ・木育コーナー

木育について、「木のおもちゃは子供の五感に働きかけ、感性豊かな心の発達を促す」とか。



<木のおもちゃで遊ぶ  
幼児童>

### ・おもちゃ病院

ボランティアで壊れたおもちゃを修理しています。修理のみであれば無料ですが、部品交換・追加材料などの使用があれば実費を支払うことになっているということです。

本日の依頼者は15人、17件の修理依頼があったようです。

<右は修理中の風景。  
下は修理後のおもちゃ>



### ・大阪大学環境サークル GECS R 班

遊びや楽しさとリサイクルを結びつけることで、「リサイクル」に対して肯定的イメージを持ってもらう足がかりにすることを目的に、大阪大学で集めた古紙を飛び出すカードに変身させる。「父の日に飛び出すカードを作ろう」の参加人数19人



<お父さんいつも  
ありがとう>

### ・コンサート

大阪府立大学アカペラサークル「ONE BEENS (ワン ビーンズ)」のコーラス2チームが出演し、ポップスを披露された。

### ・バンド演奏

アコースティックバンド (吹田の風バンド) タンゴ、フォークソング、シャンソン、童謡等を演奏。

バンドネオンの軽快なリズムは、学生時代に喫茶店で聞いていたアルゼンチンタンゴを懐かしく思い出しました。

### ・企業ブース (12の企業・団体が参加)

各企業・団体の環境問題への取り組みをパネルで説明。61人の子供たちがスタンプラリーで企業ブースを回ったようです。

・自宅の「エコ取組み状況を診断するコーナー」もありました。

## 千里エコフェスタ 2018 に参加して

手作りおもちゃと環境 PT 綿谷 一

6月3日にくるくるプラザで開催した『千里エコフェスタ 2018』に参加しました。

4階の広場にて、お楽しみイベントのステージで、アカペラやアコースティックバンド演奏や影絵、50店舗のフリーマーケット、リサイクル体験など多くの出展があり、多数の来場者がありました。

我々手作りおもちゃと環境プロジェクトチームは、手作りおもちゃ体験指導を行いました。おもちゃは廃材となる牛乳パックやペットボトルの蓋を利用した「レーシングカー」です。

広告紙を丸めて作った棒に輪ゴムを取り付け、レーシングカーの下部に取り付けたフックに引っ掛けて輪ゴムを引っ張り、走らせます。



人気のあるおもちゃで、定員20人のところ、22人の参加者がありました。

そのうち4歳の幼児も多く参加があり、両親と一緒に真剣になって作っていました。

おじいさんが孫にと一人で参加し、児童の中で、指導員の下に楽しそうに作成していました。



<おもちゃ作り体験模様>

ハサミを使い作図通り切り取り、上手に組み立て、出来上がったレーシングカーに自分の思う通りにマジックで色塗りを行い、世界で1つしかないレーシングカーを完成させました。

少しの手助けで上手に組み立てて、「はい！完成！」と言って手渡した時、とてもうれしそうにキラキラした目をして喜んでいました。

出来上がったレーシングカーをみんなで走らせて喜々と遊び、レースを行っていました。



<おかあさんと一緒に遊んでいます>

帰りに『ありがとうございました』とお礼の言葉を聞く度、我々も3倍も4倍もお返しをしてもらっていることに気が付き元気づけられます。

手作りおもちゃと環境プロジェクトチームは研究員9名で構成し、廃品（主に紙パック）を再利用した手作りおもちゃの指導を通して、ゴミの減量化と環境問題の啓発・意識の向上に関心を持ってもらうように、活動を行っています。

こんな素晴らしい体験を我々と共にしませんか。手作りおもちゃと環境プロジェクトの研究員に是非参加を募ります。

連絡先：公益財団法人 千里リサイクルプラザ

TEL：06-6877-5300

手作りおもちゃと環境プロジェクト までご連絡ください。

## 温暖化関連施設親子見学バスツアー

8月2日（木）キューピー神戸工場・伊丹市昆虫館

プラザ事務局 脇 敦子

夏休み真っただ中の8月2日（木）昨年も大好評のキューピー神戸工場・伊丹市昆虫館へ親子見学バスツアーに出かけました。今年も電話申し込みが15分で定員に達する大人気のツアーです。お天気にも恵まれ、子どもさん24名、保護者12名の36名の方々にご参加いただきました。

吹田市役所に集合し、キューピー神戸工場へ向かいバスは出発しました。今年もマヨネーズ作りの工場見学を体験することになりました。

見学の前にはビデオで学習しました。かわいいキャラクターが楽しく紹介してくれる内容です。小さなお子さんもしっかりとビデオを観ている姿はとても微笑ましかったです。



工場見学が始まると、とてもきれいで清潔な工場をガラス越しに見学することが出来て、いつも見慣れたマヨネーズが大量に生産される様子を案内していただきました。

工場内で働く人の姿はごく少数。高性能の機械でマヨネーズの生産スピードは高速化されたそうです。当日は海外向けのマヨネーズも生産されていて、海外向けのパッケージや段ボールなど珍しい光景も見ることが出来ました。工場の所々にキューピー人形が飾られていて、見つかったよ！と嬉しそうにお母さんに報告する姿もみられました。

また、マヨネーズの原料は卵の黄身の部分だけで作られているので自身は使いませんが、自身はかまぼこなどの食品原料になっていることや、卵の殻からとれるカルシウムを使用した食品や、卵の薄い膜から化粧品なども開発されているお話もありました。卵を無駄にせず、全部使い切り、マヨネーズの容器の先端部分を充填後にカットしてネームホルダーなどの製品に再利用しているそうです。環境へ配慮されていることを知って、とても勉強になりました。参加者の皆さんもとても熱心にお話を聞かれていました。楽しい試食タイムもあり、野菜サラダに何種類ものマヨネーズやドレッシングをお試しすることが出来て、美味しくいただきました。

その後、伊丹市昆虫館へ出発しました。昆陽池公園に到着後、昼食場所のセンターでお弁当を食べた後はいよいよ昆虫館です。センターから昆虫館までの道も自然豊かな環境でセミを見つけて喜ぶ子どもさんの姿も見られました。

昆虫館では全員で職員さんお勧めの虫のビデオを見ました。小さなお子さんは声をあげて喜んでいました。蝶の温室で珍しい蝶の姿を間近に見ることが出来、夏休みの催し物や、お絵かきコーナーなど、皆さん思い思いに楽しまれていました。

参加者の皆さんに喜んでいただけてとても充実した一日になりました。



## 第4回 くるくる環境スクール

「子どもと遊ぶ達人になろう」

エコイベントPT 山田 勝典

6月16日、環境スクール講座として『くるくるプラザ木工工房』で廃材を使った“子供椅子を作しましょう”が開催されました。

まずは事務局からの今後の開催予定の説明があり、続いて木工工房の先生から作業内容の説明がありました。話を聞いていますと、本来は4～5時間かかる作業内容を、2時間を目標に完成させるとの事。

「ええ、大丈夫!」

配られた 材料を見て少し安心しました。材料には『すみつけ』(※印付け等)が一部されていますし、材料の一部には加工の半分はされているものも有りました。



さあ、作業開始!  
まずは 前足の差し込み、『丸ほぞ』作り。角材の差し込み部分を線引きしコンパスで丸をとり『帯のこ』で素材切り、その後はのみを使って細かく削り出し最後は

『やすり』を使って寸法に合わせて丸みを付けて、文章にするのはこんなものですが 普段やった事のない作業に全員が青息、吐息の悪戦苦闘。

続いては座板の加工です。寸法も『すみつけ』もされてますので、『帯のこ』で背板へ差し込む『ほぞ』の切り出しと加工です。『帯のこ』の使用には危険も伴いおっかなびっくりです。



今度は『座板』に先程作った『前足』用の孔をドリルで開けます。

角度用の定規に揃えて『えい!』おとっと、ドリルをしっかりと支えて無いと!

何とかクリアーしました。一旦全てのパーツを仮組してみます。小生は何とかなりましたが皆さんの中には角度がさかさまだったり、少しずつゆがみが出たり。急いで手直しです。

今回は『背板』デザインです。

型紙でかたを書き、『糸のこ盤』で曲線を切るので、これがまたなかなかの曲者!

あっちへふらふら、こっちへふらふらととても扱いの難しい物でした。

仕上げに『やすり』で形を整え、ペーパーで磨きました。

最後に組上げです。

ボンドを付けそれぞれの『ほぞ』を差し込み

『背板』と『座板』はボルトで固定。ボルト穴も『目隠し加工』座板にさした『前足』には切り込みを入れ『くさび』を打ち込み抜け防止。

飛びだした部分を『のこ歯』で切り仕上げれば出来あがりです。

予定時間を過ぎてしまいましたが、何とか皆さん完成しました。慣れない工具や加工に色々苦労しましたが、工房の方たちが手際よく丁寧に説明して下さいのおかげです。参加した皆さん 後の仕上げをまだしたいから後日来たいと『ハマった』様です。廃材で作ったこの椅子、お孫ちゃん喜んでくれるかなあ!



## 第5回環境スクール講座 報告

7月14日（土）自然散策 日本一の里山 川西市黒川地区

吹田ごみ物語編集PT 茶園征也

一週間前の豪雨が嘘のような快晴の7月14日（土）朝、スクール受講生全員の参加者12名とスタッフを乗せたバスは、プラザを後に一路川西市黒川地区に向けて出発しました。

日本一と呼ばれる理由を直に確認する旅です。

黒川地区は「にほんの里100選」に選ばれている兵庫県でただ一つの地区です。

途中新しい町箕面森町の地区センターで休憩して、今西学さんの待つ炭焼き窯へ向かいました。

昭和30年代初め、20数軒が炭焼きをしていたが、今では今西さん方1軒になったと寂しそうに語っておられました。



炭焼き窯の前で説明を聞く受講生

ここの炭は池田炭と呼ばれ、煙が出ず、室町時代から最高級の茶道の炭として豊臣秀吉や千利休も愛用したと言われているそうです。

落葉広葉樹のクヌギを原料として作られた炭は断面がキクの花のように見えるため「菊炭」と呼ばれています。



クヌギの確保のためには、その生育を邪魔する下草やつる性植物の伐採が必要だが、月に1回、ボランティア10人ほどが手伝ってくれているそうです。また、農学校で勉強中の息子さんが後を継がれることを聞いて、受講生もこの貴重な伝統が引き継がれるとホッとしていました。

鹿による被害が近年多いということをニュース等で知っていましたが、この黒川地区でも例外ではなことを知りました。

炭には7~8年くらいたったクヌギの木（径15cm程度）を使っています。切り株を地面から1~2m残し、繰り返し再生して幹が太くなった「台場クヌギ」もこの黒川地区特徴だそうです。



台場クヌギの説明看板

炭焼きの工程も詳しく説明され、火をつけてから取り出すまで7~8日もかかるそうです。

3日間で火を消すが、そのタイミングにノウハウがあり、炭の品質にも影響するそうです。炭の取り出しは熱いうちに行うので100℃の高温下での作業で10分が限界で、交代で行うのとのことでした。



今西さんと黒川地区散策を案内してもらった豊能町職員の小嶋均さんも入ってもらって記念写真を撮った後、黒川公民館に向けて散策の開始です。



炭焼き窯を背景に記念撮影

吹田市から30分ほどで、こんなに静かな里山風景が見られることに感嘆しながらの散策でした。黒川公民館は、明治に建てられた旧黒川小学校の校舎の一部を公民館として使っていました。昭和初期の映画の撮影に使えるようなノスタルジックな建物でした。



川西市黒川公民館

小嶋均さんの案内で公民館の裏山に登りました。そこには「浄瑠璃の碑」がありました。

「鶴澤喜太郎墓」と刻まれており、浄瑠璃の先生の死を惜しんで、弟子が明治5年に建立したと説明されました。

他にも2体の碑があるそうで、黒川地区に大勢の浄瑠璃同好者がいたことがうかがえます。

炭焼きの盛んな黒川地区の人々は、心の安らぎ

に浄瑠璃を楽しんだのでしょうか。



鶴澤喜太郎の碑（墓）

公民館の奥から見える山の斜面に、生育段階のずれたクスギ林がモザイク状に眺められ、小嶋さんの説明で、この景観も日本一の理由の一つであるとわかりました。

「日本一」と呼び始めたのは兵庫県立大学の服部教授です。

また、全国的に荒廃する里山にあって、今でも利用されていることや、平安時代から続いている歴史性などが日本一の証でした。

燃料としての用途が減り、炭焼きする家が減っている現状を考えると、「日本一」の維持は簡単ではないでしょう。自然志向が高まる中で、燃料以外の用途開発が進むことを祈るばかりです。



黒川公民館を背景に記念撮影

見学先での活発な質問や意見など受講生の熱心に心打たれる講座でした。

市民研究所 9 月の予定

日	曜	催し	時間・場所	備考
1	土	エコ体験PT定例会	13:00～ プラザ研究室	エコ体験PT
		代表者会	10:00～12:00 プラザ講義室I	
2	日	エコイベントPT定例会	午後から プラザ研究室	エコイベントPT
		くるくる秋フェスタ	10:00～14:00 広場他	●
		手作りおもちゃPT定例会	13:30～ プラザ研究室	手作りおもちゃPT
		環境問題講演会	13:30～ マルチホール	第8回環境スクールに充てる
3	月	休館日		
		環境学習支援(紙すき)	14:40～ 千里第一小	エコ体験PT
		環境学習支援(2連風車)	14:30～ 藤白台小学校	手作りおもちゃと環境PT
4	火			
5	水	市民とお店PT定例会	13:30～ プラザ研究室	市民とお店PT
6	木			
7	金			
8	土	第9回くるくる環境スクール(最終)	10:00～12:00 講義室2	閉校式
		第2回市民研究員研修講座	13:30～15:00 講義室2	公開講座
9	日			
10	月	休館日		
		環境学習支援(風呂敷の包み方)	14:45～ 豊津第一小	市民とお店PT
11	火			
12	水	環境学習支援	14:20～ 吹田第一小	市民とお店PT
13	木			
14	金			
15	土			
16	日			
17	月	敬老の日		
18	火	休館日		
19	水			
20	木			
21	金	ごみ物語編集会議	14:00～ プラザ講義室I	
22	土			
23	日	秋分の日		
24	月	休館日		
25	火			
26	水			
27	木			
28	金			
29	土			
30	日			

市民研究所 10 月の予定

日	曜	催し	時間・場所	備考
1	月	休館日		
2	火			
3	水			
4	木			
5	金	環境学習支援(紙すき)	14:15～ 東山田小学校	エコ体験PT
6	土	代表者会	10:00～12:00 プラザ講義室I	
7	日			
8	月	体育の日		
9	火	休館日		
10	水			
11	木			
12	金			
13	土			
15	月	休館日		
		環境学習支援(ごみの12種分別)	14:45～ 豊津第一小	市民とお店PT
16	火			
17	水	環境学習支援(紙すき)	14:20～ 吹田第一小	市民とお店PT
18	木			
19	金			
20	土			
21	日	くるくるハロウィン	10:00～14:00 広場他	●
22	月	休館日		
		環境学習支援	14:45～ 千里第二小	手作りおもちゃと環境PT
		環境学習支援	14:40～ 高野台小学校	エコ体験PT
		環境学習支援(買い物ゲーム)	14:30～ 藤白台小学校	市民とお店PT
23	火			
24	水	環境学習支援	13:30～ 佐井寺小学校	手作りおもちゃと環境PT
		環境学習支援	13:30～ 千里丘北小	エコ体験PT
25	木	しみんけんきゅうニュース290号発行		
26	金			
27	土			
28	日			
29	月	休館日		
30	火			
31	水			



は、資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)の休館日です。●は、一般の方も参加できます。詳しくはプラザまで。

※予定は、変更する場合があります。